

もっと、知りたい。TOKIWAのコト。

TOPOS

学校法人常磐大学 広報誌
TOKIWA POST [トポス]

vol.

93

February
2022



[特集]
**地域医療を支える
看護の新たな時代へ**

- 常磐大学大学院看護学研究科、
この春スタート!
- News & Topics
- Eye on Dreams
- TOKI MY TREASURE
私のお気に入り





地域医療を支える看護の新たな時代へ この春スタート！

医療が飛躍的な進歩を遂げる一方、未曾有の超高齢化・少子化や新たな感染症拡大など医療を取り巻く環境は激変しています。

この潮流の中で、医療の現場で必要とされる看護職も変わろうとしています。これから時代に活躍する看護職は、高度医療への対応はもちろん、主体的な健康づくりや地域包括ケア、在宅医療の推進など保健医療サービスへの移行に対応する能力が求められます。

本学では時代の要請に応え、2018年度に看護学部を創設しました。そして、第1回生の卒業に合わせて2022年度より大学院看護学研究科を創設いたします。本研究科では、新たな看護のニーズと課題に応えるカリキュラムと教員陣を充実させていきます。看護の現場でリーダーシップを発揮し、固定観念にとらわれず新しい戦略を創造し、地域や医療の発展に寄与していくける高度看護人材を育成していきます。

常磐の看護学教育研究 5つの特色

1 リテラシーと教養を深める

科学的・数学的情報のリテラシー、語学など研究に必要な学際的・包括的学識を身につけることができ、社会人の院生もスムーズに学修に入れます。

2 エビデンスに基づいた実践科目

全科目がEBN(Evidence Based Nursing)を基盤とする内容です。国内外の看護研究論文を読み、現場の課題解決に生かす力、エビデンス創出の基礎力を養います。

3 リーダーシップと教育力を育成

修了後の働き方まで視野に入れた「高度実践実習」(リーダーシップ/教育)を通して、学修で得た知識やスキルを実践していく力を養います。

4 他領域の院生とともに学び合う

院生同士、教員とのディベートや建設的議論で、論理的思考を鍛え、多職種チームの中でのコミュニケーションを通じて課題解決する力を高めます。

5 院生の職場が学修フィールド

実習科目や課題研究は、院生の職場等が学修フィールドです。院生・教員・職場の三者が協力して参画し、現場に即した課題解決、人材育成を実現します。

輩出する高度看護人材

実践者リーダー

専門看護師

※2023年度から募集予定

【学術的基盤を有する】
認定看護管理者

教育研究者

前田教授
に聞く

常磐の目指す、 これからの看護



医療の質を上げるには、 看護の質を高めることが不可欠です。 これからの看護を私たちと創りましょう

看護学研究科長(就任予定) 前田 和子 教授

私は医療の質を上げるには、「看護の質を上げる」ことが重要だと考えています。例えば、日本の医療において超高齢化による医療費増大や現場の負担が大きな問題になっています。近年では医療の進歩で80～90代の高齢の患者さんが、手術や高度医療を受けることも増えてきました。しかし、中には認知症を伴う方もおり、術後の安静の維持に困難を極めることも少なくないのが看護の現状です。身体拘束を避け、どう患者さんの安全を守り、ケアするか? 現段階では有効な看護の手法は見つかっておらず、教育の中でも確立され

からの看護職者は、看護の立場から主体的に課題解決策を提案し、他職種や地域を巻き込んで実行していく思考力、行動力が求められる時代になります。

Q 課題を抱える日本の医療。 その解決に今、必要なことは?

Q 21世紀に活躍する 看護職者像を教えてください

いません。看護の質を高めていくには、既存の看護学を学ぶだけでなく、新しい看護のあり方を創り出していく革新性が求められます。常磐大学大学院看護学研究科は、高齢者医療に限らず、さまざまな医療の課題を革新的に解決していく研究と教育の場にしたいと考えています。

Q 本研究科が地域のために 貢献できることは?

茨城県内の看護職で、大学院を修了している人の割合はわずか0.8%です。医療技術が高度化し、修士や学士を持つ薬剤師や療法士などの専門職種が増える中で、看護職においても認定看護管理者や専門看護師など高度教育を受けた人材を増やしていく必要があります。本研究科では、次の3つの教育研究活動を通じて、高度看護人材の育成と地域医療の向上に努めています。

- ① 現場のリーダーとなれる看護職者を養成する
- ② 積極的なリクルート活動および「学び直し研修」を開催し、門戸を開く
- ③ 上級看護職者養成教育について、本研究科教員と現場の管理責任者による、リーダーシップ会議を定期開催する

Q

本研究科ならではの 教育研究の特色は?

本研究科の特色は大きく二つあります。一つは、医療の実践現場でリーダーシップを発揮できる人材育成に力を入れていることです。看護におけるリーダーシップとは、チーム医療において多職種との連携・調整の中心的役割を果たし、業務改善に率先して取り組めること、さらには後進の看護師を教育・指導する力です。

そのために特に看護管理学、看護教育学を学べるカリキュラムの充実を図りました。これらの中では、修了後の認定看護管理者の資格取得にもつながるものですが、既取得者にとっても学術的基盤を確立させ、知識を実践につなげる有益な学びとなるはずです。

もう一つは、院生の「職場」を実習科目、課題研究における実践フィールドとしていることです。研究で新たに獲得した知見やスキルを活用していくには、現場に即して応用していく力が不可欠です。本研究科ではリーダーシップと教育という二つの面から、研究成果と学びを現場に還元することができるのです。

Q どんな人に 挑戦してほしいですか?

私たちの目指すリーダーシップは、従来の支配型ではなく、自ら動くことでもあります。

人が働きやすくなる支援型(サーバン迫不及)リーダーシップです。後者のリーダーシップを目指したい方は、本研究科で大きな学びが得られると思います。また、看護キャリアが豊富でも、学術的知識基盤がない方もあるかもしれません。現場での経験を研究へと生かし、さらに業務の改善につなげていく実践的な内容を提供します。

すでに第1期生は、医療現場での豊富な経験を持つ幅広い年齢の看護職者が集まっています。皆さん、現場で培ってきた経験や意見から、私たち教員も大いに学びたいと考えています。また、将来的に教育研究者を目指す方もお待ちしています。

教育の立場にいる者として、私は現場で実際に看護の仕事を担い続けている方を尊敬しています。看護は、勤勉さ・忍耐力・包容力・柔軟性・樂觀性・創造性が必要な仕事です。素晴らしい資質を兼ね備えた皆さんの力になれるように、共に学び合いながら、これから看護を創っていくたらと思います。

Profile



前田和子 教授
プロフィール

聖路加看護大学衛生看護学部衛生看護学科卒。東京医科歯科大学で博士(看護学)の学位を取得。茨城県立医療大学看護学科長、沖縄県立看護大学長・同大大学院研究科長、千葉科学大学看護学部看護学科長を経て、常磐大学看護学部教授、同大大学院看護学研究科長(就任予定)。

Research Environment

学びの環境 看護学研究科専用フロア [見和キャンパス 情報メディアセンター 5階]

教室



通常の講義のほか、グループワークやディスカッションなどが行われます。自宅や職場から出席できる遠隔授業システムを導入しています。

院生室



院生用のPCやプリンターなどの機器設備のほか、個別ブース4室、共同学修スペース16席、ロッカー・休憩所も設けています。

4つの教育研究領域

看護管理教育学領域

(看護現場の管理と教育を担い、
包括的なヘルスケアを実現する)

新興感染症、人口減少、科学技術の革新など変化し続ける社会の中で、人を尊重し、パートナーシップに基づくヘルスケアサービスを推進できる看護管理と看護教育を探求します。また、院生が実践現場で感じた疑問や課題を、看護管理学や看護教育学の概念や理論を活用して明確化し、自身の職位や組織上の立場から解決に向けて取り組むことができる看護管理力、看護教育力の育成に取り組みます。看護管理者に限らず、リーダーを目指したい看護職の方を歓迎します。また、学術的基盤を有する認定看護管理者への道も拓かれています。

研究指導教員

吉田 千文(看護管理学) 橋本 麻由美(看護教育学)

副研究指導教員

柳橋 礼子(看護管理学) 細矢 智子(看護教育学)

精神・地域在宅看護学領域

(新たな看護の実践方法を開発し、
患者の支援と健康増進に貢献する)

精神看護、および地域や在宅における看護に関する多様な課題を探求し、解決に向けて提言や新しい看護実践方法を開発する能力の育成に取り組みます。「地域在宅看護学」では、地域包括ケアシステムの中で多職種と連携・協働しながら、多様な健康状態の人々の生活の質を維持・向上する療養支援・健康増進の課題を扱います。「精神看護学」では、現代社会の精神保健医療福祉に関する多様な課題を取り上げます。さらに、精神看護専門看護師への道も拓かれており、サブスペシャリティとして、リエゾン精神看護、認知症看護から選択できます。

研究指導教員

板垣 昭代(地域在宅看護学) 中川 泉(地域在宅看護学)

池内 彰子(精神看護学) 福田 大祐(精神看護学)

副研究指導教員 石井 歩(精神看護学)

授業担当教員

市川 定子(地域在宅看護学) 田村 麻里子(地域在宅看護学)

母子看護学領域

(我が国が直面する医療課題を解決し、
母子看護学を変革する)

妊娠・出産および子育て環境の脆弱さ、科学技術の急激な進歩に伴う超早産児の現状や重い障害のある小児人口の増加など、我が国が深刻な医療問題として抱える課題を探求します。「母性看護学」では、妊娠・分娩・子育ておよび女性の健康増進に関する看護を扱います。「小児看護学」では、病気や障害のある子どもと家族を対象とした看護ケアや地域のあり方、成人期への移行ケア、子どもの成長・発達を扱います。さらに、小児専門看護師になる道も拓かれています。将来を支える母子看護学を変革したい方々を歓迎します。

研究指導教員

前田 和子(小児看護学) 村井 文江(母性看護学)
坂間 伊津美(母性看護学)

副研究指導教員

沼口 知恵子(小児看護学) 中田 久恵(母性看護学)
門間 智子(小児看護学) 南雲 史代(小児看護学)

授業担当教員 猿田 和美(小児看護学)

成人高齢者看護学領域

(成人・高齢者の健康課題に向き合い、
解決に向けた看護方略を創出する)

成人看護および高齢者看護のさまざまな課題について探求し、課題解決に向けた新たな看護方略が提言できる能力の育成に取り組みます。従来の成人期・高齢期の健康課題および健康障害の各病期(急性期・慢性期・リハ期末・終末期)における看護に関しても再考し、看護実践の意義や課題を明確化します。さらに、ヘルスプロモーションに基づき、健康に生活しているときから始める疾病予防や介護予防への支援、および健康障害からの回復過程や終末への支援について、より新しい看護方略が創出できる能力を養います。

研究指導教員

市村 久美子(成人高齢者看護学)
角田 直枝(成人高齢者看護学)

副研究指導教員 黒田 暢子(成人高齢者看護学)

授業担当教員

菅原 直美(成人高齢者看護学)
井上 顯子(成人高齢者看護学)

News + Topics

学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらずさらなる広がりを見せてています。
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。

大学

私たちの行動が未来をどう変える?
大学連携SDGsシンポジウムを開催

11月2日、SDGs（持続可能な開発目標）実現へ向け、茨城大学・常磐大学連携シンポジウム「地域の未来にSDGsをどう生かせるか—大学の役割と実践の知恵—」を開催しました。太田寛行茨城大学学長が「三人称ではなく一人称で他者を思うことがSDGs実現の一歩」と冒頭挨拶。ウスピ・サコ京都精華大学学長によるSDGsの意義についての講演に続き、トーケーションでは、常磐大学の小関也総合政策学部准教授がフィリピンのフェアトレード販売の実践事例、且まゆみ総合政策学部教授が大洗海岸のゴミ収集活動と、海洋プラスチック問題についてゼミ生が記事を作成した活動を紹介しました。茨城大学は、藤田昌史准教授が茨城県の涸沼とマーシャル諸島マジュロ環礁での調査や水と陸の生態系保全・再生等を紹介、後藤玲子教授は水戸市の男女平等参画課や情報政策課と取り組むジェンダー政策を紹介しました。その後、ディスカッションが交わされ、最後に富田敬子常磐大学学長が「私たちの行動変容が未来にどうつながるのか想像することが大事。知を生み、知を育てる大学の役割を改めて認識した」と述べ、これから共通課題を確かめました。

大学
「トビタテー留学JAPAN」ファイナル！
第14期生に本学学生が採用されました！

「日本代表プログラム」の「多様性人材コース」に心理官民協働海外留学支援制度「トビタテー留学JAPAN



学科3年の大河内愛里さんと、コミュニケーション学科3年の中村友香さんが採用されました。大河内さんはカナダで児童福祉を学び、中村さんはタイ・フィリピン、韓国英語学習を学ぶ予定です。

大学

第27回東関東吹奏楽コンクール
心を一つにした音色で銀賞獲得！

8月8日、常磐大学吹奏楽団が「第61回茨城県吹奏楽コンクール・大学の部」で金賞・朝日賞を受賞し、5年連続で県代表の座を獲得。東関東大会となる9月19日の「第27回東関東吹奏楽コンクール・大学の部」に臨みました。コロナ禍による幾多の困難を乗り越え、ステージでは23人が演奏を披露。昨年の銅賞を上回る銀賞受賞となりました。団員たちは「これまでと違った大会でしたがあ、常磐らしい演奏ができました」「少人数で力強いサウンド表現が難しかったので、一人ひとりきれいな音色を意識して演奏しました」

写真提供：株式会社フォトライフ



大学

第27回東関東吹奏楽コンクール
心を一つにした音色で銀賞獲得！

氏、フローラ薬局代表の薬剤師茨城県糖尿病療養指導士の篠原久仁子氏。糖質カットとおいしさの両立に挑戦した今回のプロジェクト、学生たちにとって貴重な経験となりました。



大学

健康栄養学科の学生が共同開発
おいしさと健康を意識したスイーツ

11月3～7日、健康栄養学科の学生が共同開発した「常磐トッツオ」が水戸駅ExcellみなみのIBARAKIースイーツ工房で販売されました。「常磐トッツオ」は体型が気になる方、糖尿病予備軍の方のために糖質を50%カットしたスイーツ。開発を手掛けたのは、同学科基礎栄養学研究室の住吉克彦人間科学部准教授と研究室所属のゼミナール学生、菓子・料理教室ROSE CAFE主宰の潮田菜々子氏、フローラ薬局代表の薬剤師茨城県糖尿病療養指導士の篠原久仁子氏。糖質カットとおいしさの両立に挑戦した今回のプロジェクト、学生たちにとって貴重な経験となりました。



短大
幼稚教育保育学科の授業「心の充実」
あそびうたの世界を体験しました



短大

幼稚教育保育学科の授業「心の充実」
あそびうたの世界を体験しました



高校

リアルな模擬選挙で投票体験 有権者としての心構えを学ぶ

6月23日、25日、3年生対象の「主権者教育」の授業を行いました。この授業は水戸市選挙管理委員会事務局と常磐大学総合政策学部砂金祐年ゼミナールの協力を得て、毎年本番ながらのリアルな模擬選挙が行われます。生徒たちにとつて、自分で熟考して候補者を選び、選挙結果を受け止める経験は新鮮だつたようで、アンケートからは「内容が充実していた」「学ぶことが多かった」など感想が寄せられました。18歳を迎えたからこそ、これまでの社会をつくる有権者となる3年生。その心がまえができた有意義な経験となりました。



高校

社会やキャリアをじっくり考える 1年生対象「社会人講話」

10月13日、3年間の進路計画「ロードマップ」の一環として、1年生対象の「社会人講話」の授業を対面式で行いました。ユードム、大久保病院、おかげき矯正歯科クリニック、水戸協同病院、常陽銀行、三上建築事務所、航空自衛隊、水戸市消防本部、水戸市役所、水戸地方気象台、関彰商事、茨城ケント販売、三友製作所、京成百貨店の皆様にご協力をいただき、それぞれの仕事や社会的役割をお話しいただきました。生徒一人ひとりが自らのキャリアを考え、今後の学習に生かしてほしいと思います。



高校

知的好奇心をかき立てられた 2年生対象「大学模擬講義」

10月27日、全国12の大学（早稲田大学・筑波大学・東北大・千葉大学・奈良女子大学・山梨大学・東北福祉大学・静岡産業大学・東北芸術工科大学・東北文化学園大学・日本大学・高崎健康福祉大学）にご協力いただき、2年生を対象に大学模擬講義を行いました。リモート開催となりましたが、先生たちの熱の入った講義に生徒たちは聞き入っていました。受講後はインターネットで調べても出てこないような貴重な知識を得ることができたなどの感想が寄せられ、生徒たちは知的好奇心を大いに刺激された様子でした。



学習館

生徒たちの熱意と実行力で実現 2年ぶり・学習館フェスティバル

10月14日、第7回学習館フェスティバル2021を開催しました。今年のテーマは「俺らのやり方D.E.P.☆」コロナに負けずに楽しむ！」。生徒実行委員会を中心的に創意工夫を凝らしました。体育馆での「未成年の主張」と合唱部の美しいハーモニーで幕を切ったフェスティバル。新型コロナ感染症対策のため、本校生のみでの実施となりましたが、生徒の笑顔があふれる一日となりました。



女体山からの眺めは格別！天気にも恵まれ、頂上で皆と食べたお昼ごはんは最高でした。久しぶりの校外活動で仲間とともに汗をかき、心も身体もリフレッシュされた一日でした。



幼稚園

スポーツの秋！サッカーで遊ぼう 水戸シルエラの選手とキックオフ

10月26日、茨城県女子サッカーリーグ1部所属「水戸シルエラ」から3人のコーチを迎えて、年中組がサッカー遊びに挑戦しました。2チームに分けて、ボールを持って鬼ごっこをしたり、ボールを転がしたりしながらサッカーに親みました。ボールと仲良くなつたら、ドリブルにも挑戦。最後は試合まで楽しむことができました。体をいっぱい動かして、コーチとともに気持ちよい汗をかいだ子どもたち！スポーツの秋を満喫した一日でした。



幼稚園

JR東日本の「安全」と「環境」の取り組み 踏切の渡り方を楽しく実演！

11月4日、JR東日本のESG活動の一環として、沿線の竹を利用した竹製品の贈呈と交流イベントが当園で開催されました。園庭に踏切遮断機の模型を設置し、水戸支社の常磐線特急E657系のキャラクター「ムコナくん」も登場。路線内で遊ばないことや、踏切の正しい渡り方を実演していただき、子どもたちは大喜びでした。贈呈いただいた竹ぼっくりや竹トンボ、ブランクーやランタンは、さっそく子どもたちのお気に入りに。竹製品ならではのぬくもりが園生に彩りを添えてくれました。交通安全と、資源を生かす大きさを学んだ一日となりました。



EYE on Dreams

夢を叶えるために日々学び、仲間と成長してきた学生、生徒たち。今、卒業を目前にして、大きく羽ばたこうとしています。充実の学校生活で得た学びや友人、思い出、そして、新たなステージに向けての目標を聞きました。



常磐大学 看護学部 看護学科 4年

内山 まこ

進路:独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

実習を通じて明確になった
私が理想とする看護師像。
患者さんに安心と元気を届けたい。

高校時代に1日看護体験に参加し、患者さんやその家族に寄り添う看護師さんの姿に憧れて、看護職を志しました。常磐大学を選んだのは、高齢者の急増や地域包括システムの推進などこれから地域医療ニーズに即した看護教育に力を入れていて、予防や退院後のケア支援ができる保健師の資格も取得できると聞いたからです。

大学では、看護学や病理学などの講義に加え、学内の模擬室での演習、患者さんとのコミュニケーション手法や療養指導を経験する「健康教育演習」などを学んだのち、地域の主幹病院での臨地実習に挑みました。医療の現場は想像以上に大変で初めて知ることばかり。そこで出会ったがん患者さんは、身体的にも精神的にも大きな苦痛を抱えていると知り、周術期のがん患者さんに寄り添える看護師になりたいと目標が明確になりました。水戸医療センターを選んだ理由は、地域がん診療連携拠点病院で看護師としての専門性を高められると考えたからです。

大学生活では同じ志を持つ友人たちに出会い、先生方の熱心な指導や実習先の方々を通じて自分が理想とする看護師像を描くことができました。看護師・保健師の両課程を通して得た学びを生かし、患者さんが安心して暮らすことができるよう、入院から退院後まで一貫して支援できる看護師になりたいと思います。

常磐大学短期大学 幼児教育保育学科 2年
菅野 恵生

進路:社会福祉法人同仁会 児童養護施設
同仁会子どもホーム



保育は人を育てる尊い仕事。
常磐での学びを生かし、
信頼される保育士になりたい。



実習で子どもたちと触れ合ったことで、もっとと短大で専門知識をつけたいという思いも高まりました。コロナ禍の影響で授業が一部オンラインになりましたが、授業でわからないことは先生が個別で教えてくれたり、勉強方法をアドバイスしていただいたらしく乗り切りました。1年次の学校行事はほとんど中止になってしましましたが、2年次の「幼教フェスタ」で発表するダンス動画をみんなでつくることができたのは、忘れられない大学生生活の思い出になりました。保育士は人間を育てる尊い仕事です。常磐での学びを生かし、子どもたちに信頼され、何でも相談されるような保育士を目指します。

子どもが大好きで保育士を目指して入学しましたが、1年次秋セメスターの保育実習で「同仁会子どもホーム」での保育活動を経験し、児童養護施設で働きたいと考えるようになりました。児童養護施設は、障害や虐待、家庭の事情などを抱える幅広い年齢の子どもたちがともに暮らす施設です。職員の方々は、子どもたちが笑顔で過ごせるように、家族のように寄り添い、身の回りの世話や心身のケアに日々奔走しています。実習当初は子どもたちとの距離が縮まつましたが、「社会的養護Ⅰ」の授業で学んだ子どもの自立支援の方法を実践するうちに、少しすつ子どもたちとの距離が縮まつていきました。ここで暮らす子どもの成長に関わっていきたいと考えるようになり、実習終了後もボランティアとして通うようになったのです。

この春、羽ばたく学生、生徒に注目！



高校

常磐大学高等学校 3年
富田 萌陽
進路：琉球大学 教育学部

高校で培った思考力、行動力で
沖縄の教育に役立てる
小学校の教員を目指します。

物心がついた頃から、学校の先生になるのが私の夢でした。琉球大学を志望したのは、2年次の沖縄修学旅行がきっかけでした。沖縄に行くにあたって、各自がテーマを持つて沖縄について研究することになり、私は教育事情を調べました。そこで沖縄は離島が多い地理的条件やさまざまな事情により、教育格差が生まれていると知ったのです。コロナ禍で残念ながら修学旅行は中止になりましたが、沖縄の教育について自分なりに関心を持ち続け、地域に根ざして実習が充実している琉球大学の教育学部で学びたいと考えるようになりました。私の目標は、沖縄の文化を生かした教育を実践し、沖縄の教育向上に貢献すること。琉球大学で新たな選抜制度である「総合型選抜」が始まるなどを知り、情報収集や対策を進路の先生に協力していただきながら受験し、この春から琉球大学で学ぶという夢が叶いました。

私たちの常磐大学高等学校は、探究の時間など実践的な授業が1年次から充実していく、自分で考え、行動起こす力がどんどん鍛えられます。私も勉強だけでなく、ソフトテニス部で部長を務めるなど自分のやりたいことに全力で取り組むことができた高校生活でした。常磐で鍛えた思考力、行動力を生かし、大学では海外留学やボランティアなどにも挑戦し、積極的に自分の世界を広げたいと思います。そして、子どもたちに世界の広さを教え、学ぶ楽しさを伝えられる教員になれればと思います。

物心がついた頃から、学校の先生になるのが私の夢でした。琉球大学を志望したのは、2年次の沖縄修学旅行がきっかけでした。沖縄に行くにあたって、各自がテーマを持つて沖縄について研究することになり、私は教育事情を調べました。そこで沖縄は離島が多い地理的条件やさまざまな事情により、教育格差が生まれていると知ったのです。コロナ禍で残念ながら修学旅行は中止になりましたが、沖縄の教育について自分なりに関心を持ち続け、地域に根ざして実習が充実している琉球大学の教育学部で学びたいと考えるようになりました。私の目標は、沖縄の文化を生かした教育を実践し、沖縄の教育向上に貢献すること。琉球大学で新たな選抜制度である「総合型選抜」が始まるなどを知り、情報収集や対策を進路の先生に協力していただきながら受験し、この春から琉球大学で学ぶという夢が叶いました。



智学館

智学館中等教育学校 6年次
櫻井 美利
進路：日本女子大学 文学部英文学科

6年間の学校生活で育んだ
コミュニケーション力を発揮して
グローバルに活躍できる人になりたい。

私の夢は、英語を身につけて世界で活躍すること。英語力が高められる学校で学びたいと考え、実践的な英語教育が充実している智学館を選びました。英作文を書いたり、英語スピーチを披露したり、海外の映画やニュースからも学べる「英語表現」の授業は大好きな授業。授業以外にも、英語プレゼンテーションコンテストやカナダでのサマーキャンプなど英語力を高められる機会が多くあります。何より鍛えられたのは、ネイティブの先生との英会話です。登校時や学校内で毎日話せる環境なので、自分の考え方や伝えたいことをスムーズに英語で表現できるまでになりました。

学校生活では、4年次で生徒会副会長を務め、5年次からは生徒会長に挑戦しました。コロナ禍で学校行事が次々と中止になると、会長としてオープンスクールや新入生対面式、卒業生を送る会のオンライン開催の計画を立て、みんなで力を合わせて実現しました。初めての経験ばかりで戸惑ったり、不安になることもありましたが、あきらめずに行動する大切さを学びました。智学館はそれぞれ自分のやりたいことに挑戦している仲間が多く、私もとても刺激を受けました。

大学では、英語圏の文化や習慣などについても幅広く学びたいと考えています。そして、自分が持っている知識やコミュニケーション能力を生かして、今までの常識にとらわれない新たなビジョンを描いて、グローバルに活躍できる人になりたいと考えています。



[実習の仲間たち]



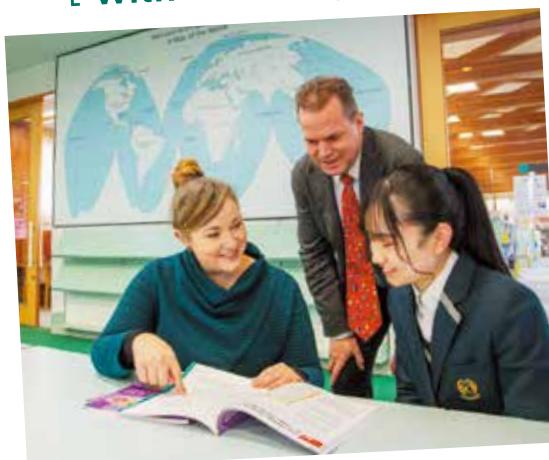
ここで育んだ友情は一生もの！



内山 まこ
(看護学科)



Conversation with Native Speaker



英語力が鍛えられました！



櫻井 美利
(智学館中等教育学校)



思い出のステージ



TOKI MY TREASURE

私のお気に入り

本誌登場のメンバーが、
学校生活でのお気に入りの
ヒト・コト・モノを紹介します。



[スタディールーム]



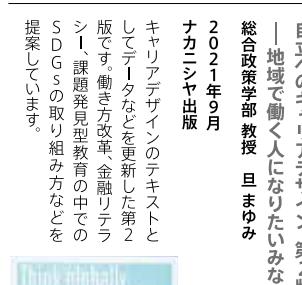
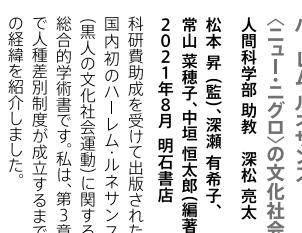
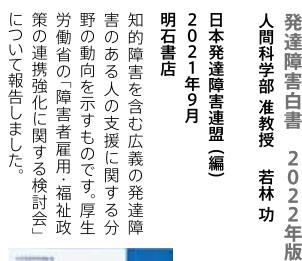
私の夢を実現する場所！



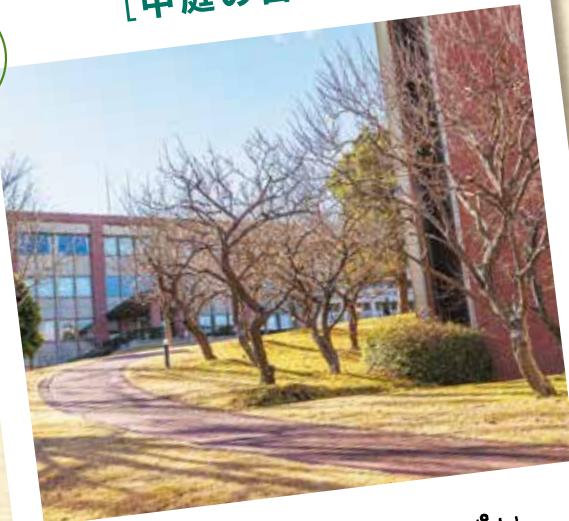
富田 萌陽
(常磐大学高等学校)

朝7時半からコツコツ自習。みんな集中しているから「私も頑張ろう！」と励されました。

大学・短期大学の
教員が執筆した
さまざまな分野の
著書をご紹介します。



[中庭の自然]



四季折々の楽しみがいっぱい



前田和子
(看護学研究科)

春には梅の花が香り、初夏には「ハンカチノキ」の白い葉が揺れる。季節ごとの風景が楽しみです。



[ピアノ練習室]



弾き語りができるようになりました♪



菅野恵生
(幼児教育保育学科)

ピアノは子どもの時以来でしたが、マンツーマン授業と個人練習でレパートリーが増えました!



学食ピカイチは
唐揚げ定食!



ダンス部

TOKIWA Information

常磐大学のキャンパスの魅力がYouTubeでご覧いただけます。TOPOS MOVIEも配信中！



TOPOS MOVIE～vol.93 Eye on Dreams～



TOPOS MOVIE～vol.93 Special Feature～



TOPOS MOVIE～vol.92 Eye on Clubs～



TOPOS MOVIE～vol.92 Special Feature～

寄付者ご芳名（敬称略・五十音順）ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。[2021年7月～12月受け付け分]

諸澤幸雄奨学生制度への募金

学校法人内の各学校に在籍する学生・生徒で、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して奨学生を給付することにより修学機会を与え、もって有為な人材の育成に資することを目的とした給付型奨学生制度です。

法人・団体

500,000円 株式会社西山工務店

5,000,000円 常磐大学同窓会

個人

32,000円 中村 和彦*

石田 脩平*

江原 麻子*

海老澤 弘子

小貫 東里

小宅 祐輔*

齋藤 純輔*

棚橋 浩

土谷 幸久

横瀬 薫

吉田 成利

渡辺 凪沙*

芳名のみ公表

見和キャンパス開設50年施設整備事業募金

施設整備事業として、ラーニングコモンズの整備および新体育館の建築整備事業を順次進めてまいりました。現在は、見和キャンパス開設に合わせて建設された校舎の建て替え整備資金としての募金です。

個人

120,000円 齋藤 泰嘉*

100,000円 横須賀 敬章

岩間 健一郎*

内田 和毅*

大槻 行徳*

関 いづみ*

中村 彩香*

久松 雄大*

村中 均

横山 正和*

園児・生徒・学生に対する教育支援

法人

玩具一式 株式会社筑波銀行

個人

芳名のみ公表 山口 正雄

国際交流、文化・体育活動への支援

個人

芳名のみ公表 井上 圭子

●複数回お申し込みくださいました方は、芳名に*を付しました。

税制上の優遇措置 寄付金募集について、文部科学省から特定公益増進法人の証明書交付を受けております。本学にご寄付いただきました場合は、税制上の優遇措置を受けることができます。

2021年度 奨学生等決定のお知らせ

諸澤幸雄奨学生

大学 | I種奨学生 9人
II種奨学生 4人

外国人留学生奨学生

大学 | 外国人留学生奨学生 1人

ローズヴィラ水戸奨学生

大学 | ローズヴィラ水戸奨学生A 3人
ローズヴィラ水戸奨学生B 2人
ローズヴィラ水戸奨学生C 2人
介護職員初任者研修奨学生 4人

水戸ロータリークラブ奨学生

大学 | 水戸ロータリークラブ奨学生 4人

寄付募集の詳細については、

ホームページでご覧いただけます。

<https://www.tokiwa.ac.jp/fund/>

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ
学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

[お電話で] 029-232-2554

[メールで] kifu@tokiwa.ac.jp

TOPOS vol.93 February 2022

学校法人常磐大学 広報誌【トポス】 2022年2月発行

学校法人常磐大学 総務課広報係

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 Tel. 029-232-2511(代)

皆様から
のご意見
大募集！

①印象に残った記事とその理由など ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど
皆様からのご意見・ご感想をメールまたははがきでお寄せください。

*名前、住所、本学との関係（在籍者の場合、所属する学校名）も併せてご記載ください。

[メール送信先] kikaku@tokiwa.ac.jp

[はがき郵送先] 〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 学校法人常磐大学 総務課広報係



お寄せいただいた方の中から、抽選で20名様に常磐大学オリジナルグッズを差し上げます。



<https://www.tokiwa.ac.jp/>

常磐大学大学院
常磐大学
常磐短期大学



常磐大学高等学校
智学館中等教育学校
常磐大学幼稚園



常磐大学は平成28年度大学評価の結果、(公財)大学基準協議会の大学基準に適合していると認定されました。



常磐短期大学は令和2年度(一財)大学・短期大学基準協議会による認証評価の結果、適格と認定されました。